

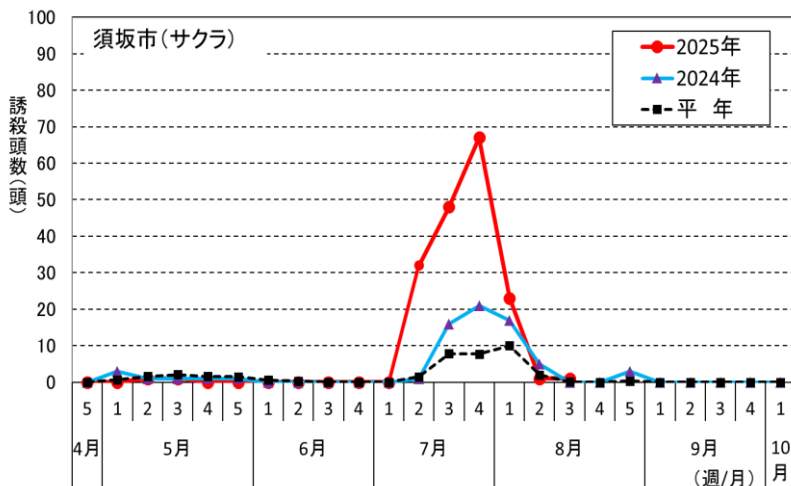
アメリカシロヒトリのフェロモントラップ誘殺消長（令和7年（2025年）調査）

病害虫防除部

【発生生態と防除のポイント】

- ・年2回発生する。越冬世代成虫は5月中旬～6月上旬、第1世代成虫は8月上～中旬に発生する。成虫の寿命は5～10日ほどである。
- ・リンゴ、ナシ、モモ、ウメ、アンズ、クルミ、サクラ等の街路樹に寄生する。
- ・成虫は体長約15mm、純白の蛾であるが、越冬世代の雄には翅に褐色または黒色の斑点が散在する。
- ・若齢幼虫期は群生しているので、被害が著しい場合にはその部分を枝ごと切り取って焼却処分することが有効である。
- ・薬剤による防除効果は高いので、幼虫が分散した後は殺虫剤により防除する。

○須坂市



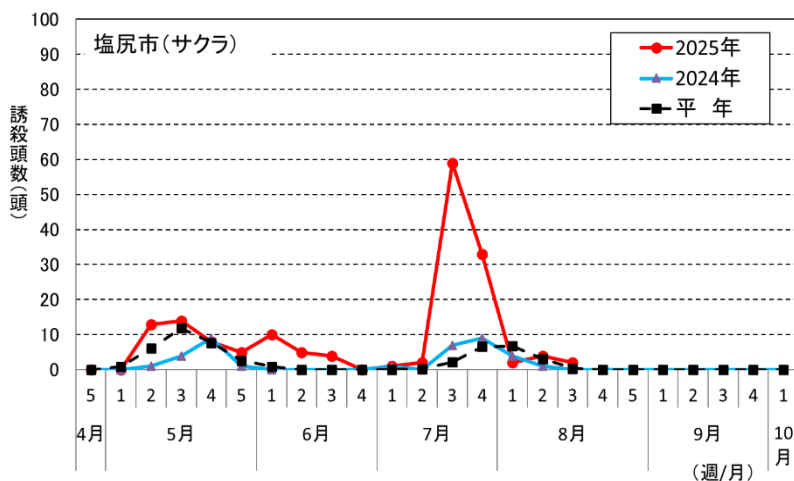
【調査地点】

- ・須坂市小河原（標高約350m）
- ・平年は2015～2024年の平均値

【コメント】

- ・7月第2週に、突然30頭以上の急激な誘殺を観測したあと、第4週には、平年の8倍の約70頭が誘殺された。
- ・8月に入って急速に減少し、終息したような状態となっている。

○塩尻市



【調査地点】

- ・塩尻市宗賀（標高約750m）
- ・平年は2015～2024年の平均値

【コメント】

- ・誘殺数は5月中旬の小ピーク以降、10頭前後で推移し、6月末に0頭となった。
- ・7月に再び誘殺され始め、第3週には、平年の2.5倍にあたる約60頭が誘殺されたが、急減して8月初旬は5頭未満となっている。